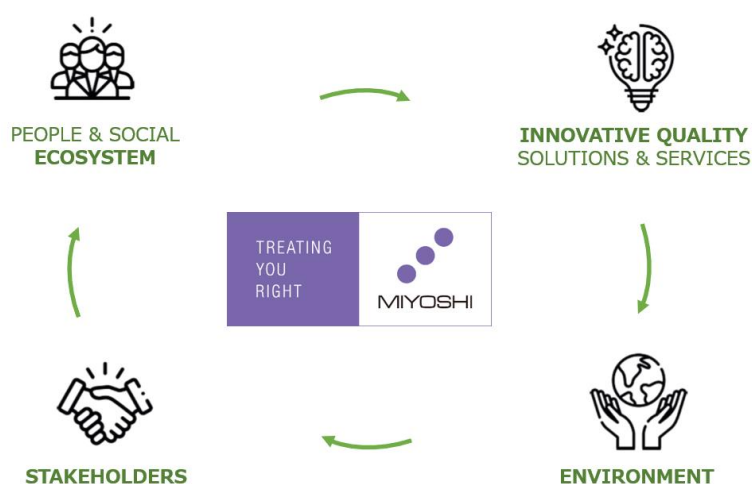




三好化成グループの CSR コミットメントと SDPI 活動の始動

2022 年三好化成グループでは、グループが一体となって CSR 活動を推進することによって、私たちの CSR コミットメント達成に向けて大きく前進しました。以下にその活動内容を報告します。



創業以来脈々と受け継がれてきた三好化成創業者の想い「誠意と品性」は、すべてのステークホルダーに対して誠意と品性をもって製品とサービスを提供することをお約束していますが、さらにステークホルダーのみならず、環境や企業に関連する全てのエコシステム（※1）に対しても同様の精神で接するというメッセージを含めたコーポレートメッセージ「Treating You Right」を 2015 年に採用し私たちグループ企業の行動基準としています。

この基軸ポリシーに基づき事業活動を進める過程で、2022 年に「SDPI」という三好化成グループ共通のイニシアティブを発足させました。SDPI はサステナブル・ディベロップメント・パフォーマンス・イニシアティブズを略したものです。

三好化成グループは、環境面では CDP（※2）に、グローバル CSR 面では Ecovadis（※3）にいち早く参加し、活動の報告を行ってきました。そしてグループとしてのグローバル戦略を更に推し進めるために、2022 年初めに、三好グループ内における CSR 専任の組織、前述の SDPI を立ち上げました。その組織を通じて、グループ各社の CSR 活動の一つに統合し、ステークホルダーに対してより明確に活動報告を行い、三好化成グループとしてより一層持続可能な CSR 活動にコミットしていきます。

SDPI は、日本の三好化成、アメリカの三好アメリカ、中国の三好蘇州、フランスの三好ヨーロッパの 4 社の各 CSR チームが主体となり、グローバルなグループイニシアティブを構築するとともに、各地域での CSR 活動を展開して社内外に発信する役割も担っています。

活動内容

三好化成グループの重視する課題は、「環境課題への取組みの強化」と「総合的 CSR ビジョンの策定」です。



「環境課題への取組み」は、2022 年、UNGC（国連グローバル・コンパクト）への署名や SBTi（Science-Based Target Initiative）（※4）に承認されたグループ全体のスコープ 1・2（※5）のカーボン・フットプリント（※6）削減目標の設定などを実施しました。

2023 年のカーボン・フットプリントの目標は、新たにスコープ 3（※5）の算定と削減も視野に入れています。

「総合的 CSR ビジョンの策定」については、2023 年以降は特に社会的側面において重点的に取り組みます。例として以下のような活動が挙げられます。

- 責任ある購買戦略(CSR 活動スコアをサプライヤーの全体評価に反映)
- 人権と倫理に関するデュー・デリジェンスの実施（主要なサプライチェーンを対象、その後すべてのサプライチェーンに展開）
- 腐敗、ハラスメント、差別などに対する全般的な通報制度の構築
- 情報セキュリティの強化に注力



今後の私たち取組みについては、まもなく作成予定の CSR レポートにて報告します。レポートでは、私たちの CSR 戦略と各活動分野の目標を提示し、その成果と将来の行動計画について報告していく予定です。レポートは当社の専用ホームページにて公開します。

<https://www.miyoshikaseigroup.com/en/csr/>

パートナーシップ

CSR の取組みは、それを展開する企業に止まらず、その企業が関係する全てのエコシステムを通して広がっていくべきものでなくてはなりません。既に多くのお取引様とともに互いの経験を共有しながら持続可能な社会に向けて取り組んでおりますが、更に多くの方々と共に活動して行きたいと考えています。この活動についてご意見

を頂ければ幸いです。三好化成 Website「お問い合わせ」にご連絡頂きたいをお願いします。
(連絡先：三好化成株式会社 SDPI 担当 人事総務部 松尾)

注釈

1. エコシステム=Ecosystem。元々は「生態系」を指す英語で、ビジネス環境における従業員を含め、地域社会や自然環境等、共存する対象をひとくくりにした表現として近年用いられている名称。
2. CDP=Carbon Disclosure Project。世界の企業や都市に対して、気候変動対応の戦略や温室効果ガス(GHG) 排出量削減の取り組みなどを評価する世界有数の ESG 評価機関。
3. Ecovadis=エコパデイス。世界 160 カ国、9 万 5000 社以上の企業に評価を実施するサステナビリティ・サプライチェーンの評価会社。「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の 4 分野で企業の CSR 方針や施策、業績を評価。
4. SBTi=Science Based Targets initiative。パリ協定(世界の気温上昇を産業革命前より 2°Cを十分に下回る水準に抑え、さらに努力目標として 1.5°Cに抑えることを目指すもの)が求める水準と整合した企業が設定する温室効果ガス排出削減目標であり、科学的知見に基づく削減目標を設定することを推進するもの。
5. Scope1・2・3=企業活動における二酸化炭素を把握するくくり。
 - ※ Scope1=自社で燃料を燃やしたことによる CO2 排出量、
 - ※ Scope2=購入した電力による CO2 排出量
 - ※ Scope3=Scope1・2 以外の全てを指し、原料の生産・輸送から製品廃棄までを含む CO2 排出量
6. カーボン・フットプリント=Carbon Footprint of Products の略称で、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を CO2 に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組み。